

会 議 録

会議名	平成 27 年度 第 5 回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	平成 27 年 10 月 22 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 20
開催場所	丸亀市役所 本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>(出席した委員)</p> <p>村山 卓 日野 明世 田岡 洋司 高木 和代 中田 陽子 善勝 光一 明石 安哲 新川 裕司 西川 真智子 守家 敬子 高木 明美 奥田 徹 松井 信子 伊藤 智也 三井 喜代子</p> <p>(欠席した委員)</p> <p>漆原 光徳 糸杉 宗州 横田 幸司 佐藤 国夫 三谷 雄治</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p>市長 梶 正治 政策課長 大喜多 章親 政策課副課長 富士川 貴 政策課担当長 志村 芳隆 政策課主査 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. パブリックコメントの結果について</p> <p>2. 丸亀市人口ビジョン及び丸亀市未来を築く総合戦略（最終案）について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	1 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
大喜多政策課長	<p>本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今より、丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。初めに市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
梶市長	<p>これまで 4 回に渡り会議を重ねていただき、誠にありがとうございます。国からの号令のもと、全国的に人口に着目した地方創生の総合戦略づくりが求められていますが、そこに出てくる取組の多くは、将来の丸亀市を考えて、これまで進めてきたものであり、これからも進めなければならないものであります。そういった取組をまとめた総合戦略が出来上がることを機会に、さらに重点化して取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、地方創生の取組に伴って、期待の大きかった国からの交付金については、全体で 1,000 億円と各地方自治体にとって満足できるものにはなっていませんが、与えられる枠の中で精一杯取り組んでまいります。</p> <p>本日は、その総合戦略の最終案をお示ししますので、忌憚のないご意見やご提言をいただきますようお願い申し上げます、あいさつといたします。</p>
大喜多政策課長	<p>以後の会議の進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第 7 条の規定に基づき、村山会長にお願いいたします。</p>

村山会長	<p>それでは会議を進めます。はじめに、本日の会議は、現時点で委員総数 20 名中 15 名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>本日の議事は、「パブリックコメントの結果について」「丸亀市人口ビジョン及び丸亀市未来を築く総合戦略（最終案）について」「その他」の 3 件です。まず、議事の 1 について事務局の説明を求めます。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づいて説明></p>
村山会長	<p>ただいまの説明についてご意見、ご質問があればお願いします。</p>
村山会長	<p>項目 11 は、出生数の成果目標が下がっていることについての質問ですが、目標値と社人研推計との比較を入れるなどして、減少傾向にある中でも、一定の水準までで食い止めるという目標であることを明らかにした方がわかりやすいと思います。</p>
日野委員	<p>項目 14 は、質問と回答がかみ合っていないように感じます。自治会加入のメリット、デメリットを打ち出した上での加入促進という点の答えがありません。</p>
政策課真鍋	<p>それぞれ地域性や特色のある自治会について、市として、メリットやデメリットを打ち出すことは難しいので、市としての加入促進策の検討という表現に止めています。</p>
日野委員	<p>今言った市のスタンスについても書いておいた方がよいと思います。</p>
村山会長	<p>他にないようですので、議事の 2 「丸亀市人口ビジョン及び丸亀市未来を築く総合戦略（最終案）について」に移ります。パブリックコメント資料からの変更点を中心に事務局からの説明を求めます。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づいて説明></p>
村山会長	<p>前回からの大きな変更点は、K P I の目標値が入ったことです。全体的には、多くの施策が盛り込まれ、市、市民、事業所など様々な主体が地方創生に向けた取組を進めていくという内容になった最終案と思います。ご意見等をお願いします。</p>
明石委員	<p>P21 のSWOT分析の「O」は「O p p o r t u n i t i e s」で「機会」と直訳されていますが、意味としては「好機」や「チャンス」といった表現がふさわしいと思います。</p> <p>P35 のK P I で、市公式フェイスブックの「いいね！」の数と地域ブランド調査での認知度は、重要度からして、地域ブランド調査の認知度を上にしておくべきと思います。また、市内宿泊者数や市内観光入込客数は、もう少し高い目標を設定して、や</p>

<p>政策課真鍋</p>	<p>るという姿勢を示して欲しいと思います。</p> <p>P36 のK P I で、スポーツ合宿実施日数の目標値を 150 日と設定していますが、それだけの滞在が可能な宿泊施設などの環境整備はできているのですか。</p> <p>P39 のK P I に災害時応援協定締結数がありますが、その応援協定とは、どのような内容のものですか。</p> <p>最初の 2 点については、修正します。また、市内宿泊者数と市内観光入込客数の目標値については、所管課と再検討します。</p> <p>スポーツ合宿実施日数の目標値については、今年度の見込みをもとに、5 年間の目標値を設定したものであり、今後、その目標値を達成するための環境整備も進めていかなければなりません。現時点でも予定が入っているということは、ある程度の規模の合宿に対応できる能力は備えているものと認識しています。</p> <p>災害時応援協定については、行政間だけでなく、民間企業等との物資の供給の協定なども含めたものですが、わかりにくいようなので、表現を修正します。</p>
<p>高木和委員</p>	<p>P35 の地域ブランド調査の認知度は、母数がいくつで、どのような数値ですか。</p>
<p>政策課真鍋</p>	<p>全国 1,000 の地域、市区町村の中での順位です。ブランド総合研究所がインターネットを使って 30,000 件程度のサンプルを採って調査したものです。</p>
<p>日野委員</p>	<p>前回の会議でも、弱者に対する配慮が足りないのではという意見が出たようですが、「スポーツによるにぎわいづくり」の中での障害者スポーツや高齢者の介護予防のためのスポーツ、年を取っていても気軽に取り組める運動といった視点を入れておくべきと思います。</p>
<p>政策課真鍋</p>	<p>障害者スポーツという表現はありませんが、具体的な取組の「市民スポーツの浸透による健康増進」に含まれる内容と考えています。また、介護予防等については、同じところに加えて、P30「健康長寿の促進」の中の具体的な取組である「ウォーキングなど世代に応じた体力づくりの促進」や「ロコモティブシンドロームの予防」に入ってくると考えています。</p>
<p>守家委員</p>	<p>P35 で市公式フェイスブック「いいね！」の数をK P I に置くことは、違和感があります。</p> <p>P38 で不登校児童生徒の割合をK P I に置くことについても、子ども 1 人ひとりに着目して欲しいという意味では、数値化して、成果として測ること自体がどうかと感じます。</p>
<p>政策課真鍋</p>	<p>当初、K P I としては、新聞、テレビ、雑誌などマスコミに登場した回数を考えていましたが、正確な把握が非常に難しいということがあり、近年、新たな情報発信ツ</p>

村山会長	<p>ールとして用い始めた市公式フェイスブックによる効果測定として、「いいね！」の数をK P Iに設定しました。</p> <p>また、「子どもの安全安心な成育環境の確保」の成果を数値で測ることの是非はありますが、いじめの認知件数や補導件数なども検討する中で、不登校児童生徒の割合が最も実態を把握できる数値ということで設定したものです。</p> <p>目標値の設定は本当に難しいのですが、総合戦略においてK P Iの設定は必須とされていますので、正確な把握が可能か、恣意的なものでないか、施策の進行と関連して数値も上がるものかなど、いろいろと勘案した上で、この最終案に落ち着いたのだらうと思います。今後、より良い効果の測定ができる場合は、K P Iの変更や追加を行うべきですし、この会議で進行管理を行う上では、K P Iを追うだけでなく、施策の進行と合わせて見ていかなければならないと思います。</p>
奥田委員	<p>よい総合戦略ができていると感じますが、この中の施策を市が中心となってどのように展開していくかがもっと重要です。縦割り、横並び、浸透していない、短期的などと言われてきたこれまでの行政の施策展開をどう変えるか、P D C AのDが大切と思います。</p>
田岡委員	<p>P28 のK P Iの男性育児休業を取得した人の割合は、基準値よりかなり上げた目標値になっていますが、こういった目標は高ければ高いほど、社会に男性育児休業を取ろう、取れるようにしようという風潮が出てきやすくなり、ワーク・ライフ・バランスの推進に繋がっていくと思います。この目標値自体はどのような設定ですか。</p>
政策課真鍋	<p>今年度を実施したアンケート調査で、育児休業を「取得した」「取得するつもりである」「希望するが、取得できない」を合わせると15%程度になりますので、希望する人が取得できるという状態をめざすという意味の目標値です。参考として、国は13%と目標を設定しておりますので、国よりも高い目標になります。</p>
守家委員	<p>パブリックコメント資料では、K P Iに家事・育児にかかる時間の男女差がありましたが、なぜ最終案では削られたのですか。K P Iとしては、男性のものと女性のものの両方があった方がよいと思います。</p>
政策課真鍋	<p>目標値の設定については、根拠のある数値目標を立てようとしていましたが、現時点では、適切な目標値の設定ができず、削除しました。ただし、引き続き、分析、検討を進めており、調整できた段階でK P Iとして追加したいと考えています。K P I全般について、ふさわしい数値目標が設定できたら、適宜、追加していく予定です。</p>
高木明委員	<p>女性管理職の割合というK P Iも削られていますが、これも同じような理由ですか。あと、例えば、先ほどの不登校児童生徒の割合をK P Iに設定することには是非が</p>

政策課真鍋	<p>あるという議論のように、今後の評価では、K P I だけに囚われるのではなく、施策や事業の進捗も同時に見て、総合的に評価していくという考えでよいのでしょうか。</p> <p>女性管理職の割合についても同じ理由で、単純集計だけを見た現時点では、適切な目標値の設定が難しいため、削除したものです。</p> <p>また、今後の進行管理については、K P I の推移より、施策や事業の進捗を見ていく方が大切と思います。K P I はあくまで参考となる目安であり、P D C A サイクルでしっかり進行管理するためには、もっと細かい、数値だけでは測ることのできない効果などにも目を向けていく必要があります。進行管理の段階では、そういった総合的な評価ができる資料をお示しした上で、十分にご意見等をいただきたいと考えております。</p>
新川委員	<p>男性育児休業を取得した人の割合というK P I については、第2回会議に出した資料を見ますと、女性の育児休業は全国で9割近くが取得しているというデータがあり、次は男性の取得を促進するという意味でふさわしい設定だと思います。</p> <p>P 29 の地域子ども・子育て支援事業実施箇所数というK P I の目標値だけが69箇所と細かい数値になっていますが、何か理由があるのですか。</p>
政策課真鍋	<p>これは、市の子ども未来計画の数値をそのまま使っています。</p>
新川委員	<p>P 35 の地域の魅力発信の強化のK P I については、フェイスブックよりも、市から記者クラブなどに情報提供して、取り上げられた件数なら把握しやすく、わかりやすいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
村山会長	<p>フェイスブック「いいね！」の数は、やり方によっては、比較的簡単に数値を伸ばすことができると感じますので、目標値の設定も含めて、よりよいK P I の設定を検討して欲しいと思います。</p>
明石委員	<p>マスコミにおける丸亀市の露出度は、良いニュースも悪いニュースも含めてになりますが、電通のビッグデータなどから出せる可能性がありますので、数値の把握が必要なら検討してみてください。あと、K P I の用語の説明がどこにもありませんので、どこかで説明を入れるべきだと思います。</p>
伊藤委員	<p>アンケートなどで介護に対する不安を感じている人が多いという結果が出ていますので、P 30 の健康長寿の促進やP 38 の生活不安の解消の中で、健康寿命など介護の不安を和らげることにつながるK P I を設定できればよいと思います。</p>
三井委員	<p>P 29 のK P I の第3子以降の出生数について、昨年より20人増という目標値は、少ないように感じます。</p>

政策課真鍋	介護不安を和らげることにつながるK P Iについては、今後、検討したいと思えます。第3子以降の出生数については、子どもを産める年齢層の女性が減少する中で、今以上の比率で第3子が産まれるようになるという目標値となっています。
日野委員	K P Iについては、目標値設定の根拠がわかる方がよいと思えます。別資料で作っておいてはいかがでしょうか。
村山会長	K P Iの考え方についての資料があった方がよいと思えます。
大喜多政策課長	K P Iについて整理した資料も作成します。
守家委員	この総合戦略は、どのように配布されるのですか。
政策課真鍋	この形では、市HPでの公開になると考えていますが、このあと、概要版を作成して、広報に織り込んで配布することを予定しています。
明石委員	チラシのようなものですか。どれくらい配布することになりますか。
政策課真鍋	8ページ程度の冊子で、全戸配布を考えています。
村山会長	他に意見もないようですので、議事の3「その他」に移ります。事務局から今後のスケジュール等の説明があります。
政策課富士川	<事務連絡>
村山会長	以上で本日の会議を閉会します。